

申請書記載例及び記入上の注意事項

様式第五（第五十五条関係）

許可
解体業
~~許可の更新~~

許可・許可の更新のどちらか一方を選択してください。

※許可番号
※許可年月日

更新の場合は、
※印の欄に
許可番号と
許可年月日を記入
してください。

宮城県知事 殿

住所・氏名は、住民票又は登記事項証明書に記載されているとおり、正確に記入してください。

(郵便番号) XXX-XXXX
住所 宮城県仙台市青葉区本町〇丁目△番□号
氏名 株式会社〇〇 代表取締役 宮城太郎
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 022-211-〇〇〇〇

使用済自動車の再資源化等に関する法律第...
て解体業の許可（~~許可の更新~~）を申請しま

- ・ 保管施設の面積, 保管量
- ・ 解体作業場の面積, 床面構造・材質
- ・ 燃料採取場所の面積, 床面構造・材質, 屋根の有無
- ・ 部品保管場所の面積, 屋根の有無
- ・ 運搬車両・重機の種類, 台数
- ・ 排水処理施設の種類, 施設数等を記載する。
書ききれないときは別紙でも可
- ・ 事業所が複数ある場合は、後述の様式を使用し、事業所ごとの施設の概要を記入してください。

事業所の名称及び所在地		
名称	株式会社〇〇リサイクル	
所在地	(郵便番号) XXX-XXXX 宮城県石巻市東中里〇	
事業の用に供する施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用済自動車保管場所 〇㎡ 最大保管料 〇台（普通車換算） ・ 解体自動車保管場所 〇㎡ 最大保管料 〇台（廃車ガラ換算） ・ 解体作業場 〇㎡ 床面コンクリート打設(150mm) 屋根 有（燃料採取場所共用） ・ 部品保管場所 〇㎡ 屋根 有 ・ 運搬車両3台（平ボディ 2台、キャリアカー 1台） ・ 解体用重機 1台 ・ 油水分離層 1か所 	
他に解体業又は破碎業の許可 (他の都道府県のものを含む。) を有している場合にあっては、 その許可番号（申請中の場合に あっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合に あっては、申請年月日）
	仙 台 市	令和〇年〇月〇日 解体業 許可申請
他に廃棄物処理法に基づく 産業廃棄物処理業の許可 (他の都道府県のものを含む。) を有している場合にあっては、 その許可番号（申請中の場合 にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合に あっては、申請年月日）
	宮 城 県	第 0400XXXXXX 号 (収集運搬)
解体業を行おうとする事業所 以外の場所で使用済自動車又 は解体自動車の積替え又は保管 を行う場合には、当該場所の 所在地、面積及び保管量の上限	株式会社〇〇 廃車集積場 宮城県〇〇市△△ 1丁目 2番 3号 保管場所 〇㎡ 保管量上限 〇〇台	

事業所が複数ある場合は、
後述の様式を使用して
記入してください。

役員の名義及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。法人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏名	役職名	住所
みやぎ たろう 宮城 太郎	代表取締役	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□
みやぎ はなこ 宮城 花子	取締役	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□
せんだい じろう 仙台 次郎	監査役	多賀城市〇〇△△の□
まつしま さぶろう 松島 三郎	相談役	宮城郡松島町松島字〇〇

令第5条に規定する使用人の氏名及び住所（当該使用人がある場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏名
該当なし

使用人とは、申請者の使用人で次に掲げるものの代表者であるものをいいます。

- 1 本店又は支店（商人以外の者にあつては、主たる事務所又は従たる事務所）
- 2 継続的に業務を行うことができる施設を有する場所で、解体業に係る契約を締結する権限を有する者を置くもの。

法定代理人の氏名及び住所（未成年者であり、かつ、その法定代理人が個人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏名	住所
該当なし	

法定代理人の名称及び住所並びにその代表者の氏名（未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

名称	該当なし
(ふりがな) 代表者の氏名	
住所	(郵便番号)
	電話番号

法定代理人の役員の氏名及び住所（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。未成年者であり、かつ、その法定代理人が法人である場合に記入すること。）

(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所
該当なし		

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（法人である場合において、当該株主又は出資をしている者があるときに記入すること。）

(ふりがな) 氏名又は名称	住 所	保有する株式の数 又は出資の金額
みやぎ たろう 宮城 太郎	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□	五千株
みやぎ はなこ 宮城 花子	仙台市泉区〇〇2丁目△番地□	三千株
かぶしきがいしゃまるさんかく 株式会社〇 △	仙台市太白区〇〇町□番地△	二千株

標準作業書の記載事項

使用済自動車及び解体自動車の保管の方法	} 別添 標準作業書のとおり
廃油及び廃液の回収、事業所からの流出の防止及び保管の方法	
使用済自動車又は解体自動車の解体の方法（指定回収物品及び鉛蓄電池等の回収の方法を含む。）	
油水分離装置及びためます等の管理の方法（これらを設置する場合に限る。）	
使用済自動車又は解体自動車の解体に伴って生じる廃棄物（解体自動車及び指定回収物品を除く。）の処理の方法	

使用済自動車又は解体自動車から分離した部品、材料その他の有用なものの保管の方法	} 別添 標準作業書のとおり
使用済自動車及び解体自動車の運搬の方法	
解体業の用に供する施設の保守点検の方法	
火災予防上の措置	
△手数料欄	

- 備考
- 1 △印の欄は、記入しないこと。
 - 2 ※印の欄は、更新の場合に記入すること。
 - 3 事業所が複数ある場合には、「事業所の名称及び所在地」及び「事業の用に供する施設の概要」の欄を繰り返し設け、事業所ごとに記載すること。
 - 4 「事業の用に供する施設の概要」の欄については、当該施設の構造を明らかにする図面等を添付することでも可能とする。
 - 5 「役員の氏名及び住所」の欄その他の氏名又は名称及び住所の記載を要する各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。
 - 6 「標準作業書の記載事項」の欄については、当該標準作業書の全文の写しを添付することでも可能とする。
 - 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

事業所の名称及び所在地		
名 称		
所在地	(郵便番号)	(電話番号)
事業の用に供する 施設の概要		
事業所の名称及び所在地		
名 称		
所在地	(郵便番号)	(電話番号)
事業の用に供する 施設の概要		

※事業所が複数ある場合には、この様式を使用してください。

要領様式第1（第4，12，22，26関係）

誓 約 書

（当社）は、下記について誓約します。

記

1 引取業者登録申請者誓約事項

使用済自動車に関する法律第45条第1項各号に該当しない者であること。

2 フロン

使用済自動車の再資源化等に関する法律第56条第1項各号に該当しない者であること。

3 解体業許可申請者誓約事項

使用済自動車の再資源化等に関する法律第62条第1項第2号イからヌまでのいずれにも該当しない者であること。

4 破砕業許可（変更許可）申請者誓約事項

使用済自動車の再資源化等に関する法律第69条第1項第2号に適合すること。

※誓約する事項の番号を○で囲んで下さい。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

宮城県知事

殿

住 所 宮城県仙台市青葉区本町〇丁目△番□号

氏 名 株式会社〇〇 代表取締役 宮城太郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

解体業事業計画書

令和〇〇年〇〇月〇〇日 現在作成

1 事業の全体計画（業務を行う時間、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

引取業やフロン回収業者（〇〇商会等）から引取を行った使用済自動車（乗用車及び大型車）を解体し、有用部品（エンジン、ドア、バンパー等）を回収し中古部品業者及び金属商等に売却する。 解体作業に伴って発生した廃プラスチック類については、産業廃棄物処分業者に委託し、破碎処分する。 解体自動車については、破碎業者である〇〇株式会社に引き渡す。 各作業工程や作業時間については別添フロー図のとおり。					
業務時間	8:30 ~ 17:15	従業員数	3名	休業日	日曜日・祝祭日

2 使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	令和元年度実績 (3年前)	令和2年度実績 (2年前)	令和3年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	480 台	520 台	500 台	700 台
主な引取先	〇〇自工(株) (有)〇×販売	〇〇自工(株) (有)〇×販売	〇〇自工(株) (有)〇×販売 △□自動車(有)	〇〇自工(株) (有)〇×販売 △□自動車(有)

新規申請者については、既に引取業者又はフロン回収業者としての登録がある場合は記載してください。

3 解体実績（乗用車）

年 度	令和元年度実績 (3年前)	令和2年度実績	令和3年度実績 (1年前)
年間処理実績	490 台	新規申請者については記載不要	
年間稼働日数	280 日	280 日	280 日
平均処理実績	1.8 台/日	1.8 台/日	1.8 台/日

4 解体能力

一日当たり処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
3 台/日	280 日	840 台

5 保管の状況

使用済自動車		解体自動車	
保管量の上限	50 台 (20 台)	保管量の上限	50 台 (台)
現在保管量	30 台 (台)	現在保管量	5 台 (台)

※事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で () に記入すること。

新規申請者については記載不要

解体業年間収支見積書

項 目		前年度（令和2年）（決算月（3月））		今年度の見込み（決算月（3月））	
		年度（千円）	1台当（円）	年度（千円）	1台当（円）
売上高（全体）	ア（総売上収入）	16,000	32,000	28,000	40,000
売上原価	イ（使用済自動車等購入費）	2,500	5,000	-700	-1,000
その他の経費	ウ	11,575	23,150	14,000	20,000
うち廃棄物処理委託費	エ	750	1,500	1,050	1,500
営業利益	オ = ア - イ - ウ	1,925	3,850	14,700	21,000
営業外損益	カ（主に支払利息）	-600	-1,200	-630	-900
経常利益	キ = オ + カ	1,325	2,650	14,070	20,100
使用済自動車等年間引取台数		500		700	
使用済自動車等年間処理台数		500		700	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額（年度末残高）（千円）	15,000	14,500

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
 2 使用済自動車等購入費は購入費をプラス、引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること。
 3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

事業計画書と矛盾しないように記載してください

